

「2024年(第5回)全国看護学生アンケート調査」の結果について

職員育成部事務局

■調査の目的; コロナ禍で、看護職を目指す学生が、保護者の収入減少やアルバイトが出来なくなる中で、経済的困窮に陥る事例が現場(加盟看護学校教職員や加盟医療機関の看護学生担当者など)から多数寄せられた。全国的な実態を把握するため、2020年からアンケート調査を行い、本調査をもとに「給付型奨学金」や「学生支援緊急給付金」の拡充、高等教育無償化をはじめとした、経済的不安なく看護職を目指す学びの環境改善を毎年国に求めている。

■調査の方法および集計; 民医連内外の現役の看護学生に協力を呼びかけ、2024年4月8日～7月31日の期間、Google フォームで回答を求めた。学校所在地県名以外は無記名で行った。37都道府県955人の看護学生から回答を得た。学校種別では大学がおよそ2割、看護専門学校(3年制)がおよそ7割。また、8割が実家で家族と同居している学生であった。

■結果;

①**世帯経済状況**; 回答した473人の内のおよそ半数が世帯年収380万円未満。また、コロナ禍以降(2022年から)、仕送りや小遣いなどの親からの援助の金額が大幅に減少し続けている。回答した917人の看護学生の内6割が親からの援助を「受けていない(0円)」と回答。

②**本人の経済状況**; 経済的にゆとりがない時に節約しているものの内容は「被服費」「嗜好品費」「食費」「交通費」と例年同様だったが、今般、初めて物価高騰での生活の変化について回答を求めたところ、「変化なし」と単一選択した学生は14%(131人)のみ。圧倒的多数が「節約し」「預貯金を切り崩し」「アルバイトを増やしている」と回答した。

③**学費**; 在学期間の総額は200万円以上350万円未満が、全体の分布の半数を占めた。学費全額を、家族・親族が負担していると回答したのは32%で、7割の学生は奨学金を借りアルバイトをしなければ看護学校に通えない。また、私立看護大学では、そのほとんど(75%)が500万円以上かかると回答。8割の学生が学費は高額と感じていた。また、「もしも学費が無償になったら何がしたいか?」との設問に対して「医療機関への受診14.4%」「食生活の改善19.5%」「家族の生活費の補填32.9%」が多く、看護職を目指すための経済的負担の重さが窺える。

④**奨学金**; 3割が受けていないと回答しているが、受けていない事由を尋ねたところ「必要だったが受けられなかった」「返済が不安で借りられなかった」が4割以上を占め、実際にはおよそ9割の看護学生が奨学金を必要としている結果となった。また、貸与型奨学金(学生ローン)の卒業時返済金(借金)の総額は、100万円～200万円の分布が最も多く、200万円以上が半数を占めた。返済に20年間かかると回答した看護学生も散見された。同時に、返済が「とても不安」との回答が増加し、3年前(2021年)に半数居た「不安なし」は2割を切った。

⑤**アルバイト**; 87.6%の看護学生がアルバイトをしていた。一日のアルバイト時間が4時間以上6時間未満との回答が最も多くおよそ5割。内、6時間以上が2.5割だった。アルバイト日数は3日以上が6割。5日以上との回答も1割あった。また、4時間以上アルバイトしている学生の3割が4日以上とほぼフルタイムで働いていた。アルバイトによる睡眠不足や疲労蓄積で学業に支障があると回答した学生はおよそ7割に上り、『命に関わる大切な職業なので、アルバイトではなく勉強に集中したい』という学生の声は重く、切実である。※別添/表とグラフ、看護学生の声(自由記載)

◆問い合わせ、取材依頼はこちら。全日本民医連 ☎03-5842-6451(職員育成部)



2024年全国看護学生 アンケート調査の結果

37都道府県 955人から回答を得た

期間:2024年4月8日～7月31日

方法:Googleフォームにて、県名以外は無記名回答

比較データとして、2020～2023年調査を引用した

5年目となる本調査の発端は、ある看護専門学校で、疲れていて授業に集中できていない学生が増えた為に実態調査を行ったところ、アルバイトをしなければ学費はもちろん生活費もまかなえない学生が増加していたことが判明。経済的な不安なく看護師を目指せる環境改善が必要と考え、実態調査を全国的に行い、国への要請や世論喚起に活用している。



全日本民主医療機関連合会
<https://kirarikango.com/>

1

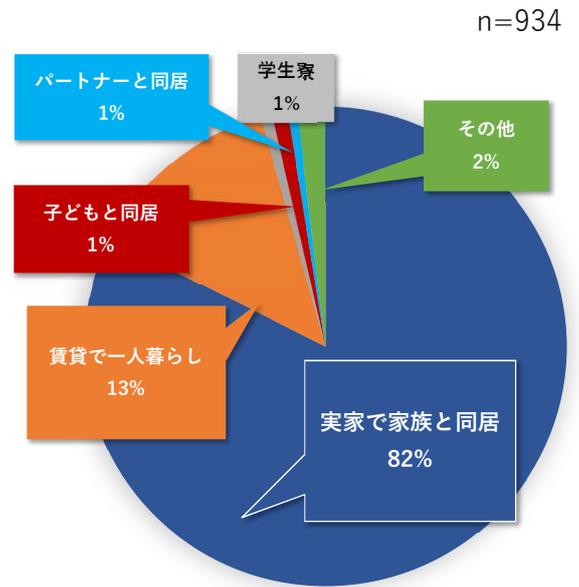
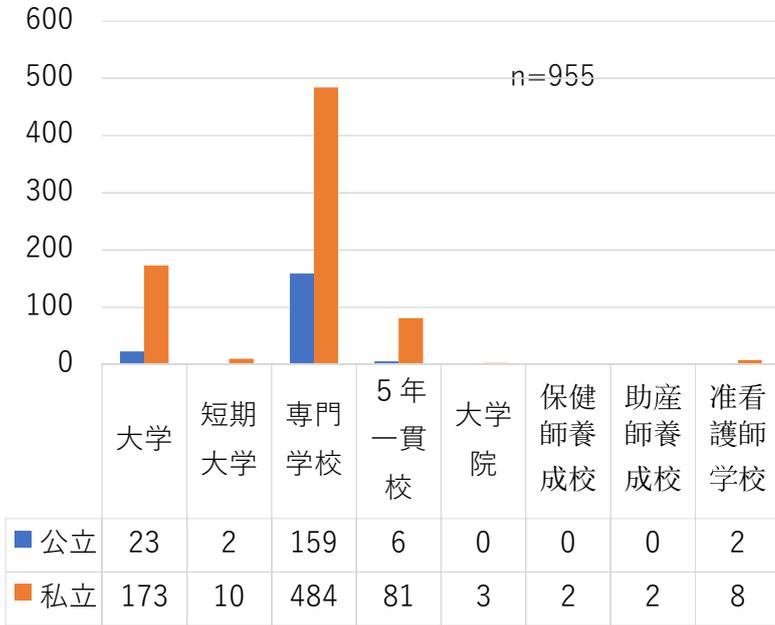
アンケート調査の目的と方法



- **調査の目的**; コロナ禍で、看護職を目指す学生が、保護者の収入減少やアルバイトが出来なくなる中で、経済的困窮に陥る事例が現場(加盟看護学校教職員や加盟医療機関の看護学生担当者など)から寄せられた。全国的な実態を把握するため、2020年からアンケート調査を行い、実態調査をもとに「給付型奨学金」や「学生支援緊急給付金」の拡充、高等教育無償化をはじめとした、経済的不安なく看護職が目指せる環境改善を毎年国に求めている。
- **調査の方法**; 民医連内外の現役の看護学生に協力を呼びかけ、2024年4月8日～7月31日の期間、Googleフォームで回答を求めた。学校所在地の都道府県名以外は無記名で行った。

2

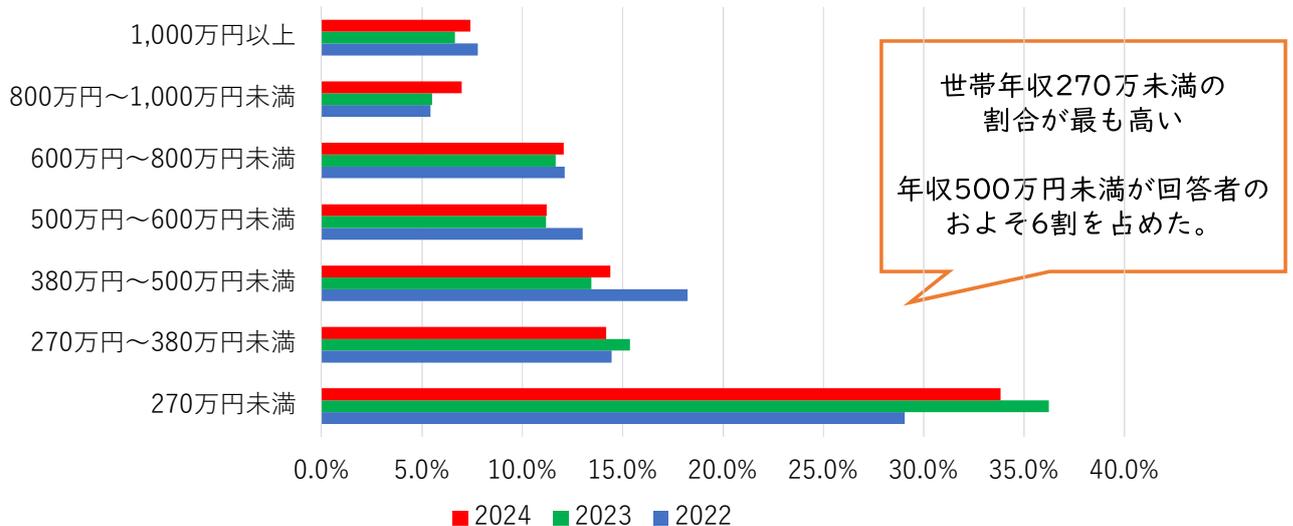
学校種別と住まい



3

世帯年収270万円未満の学生が最も多い

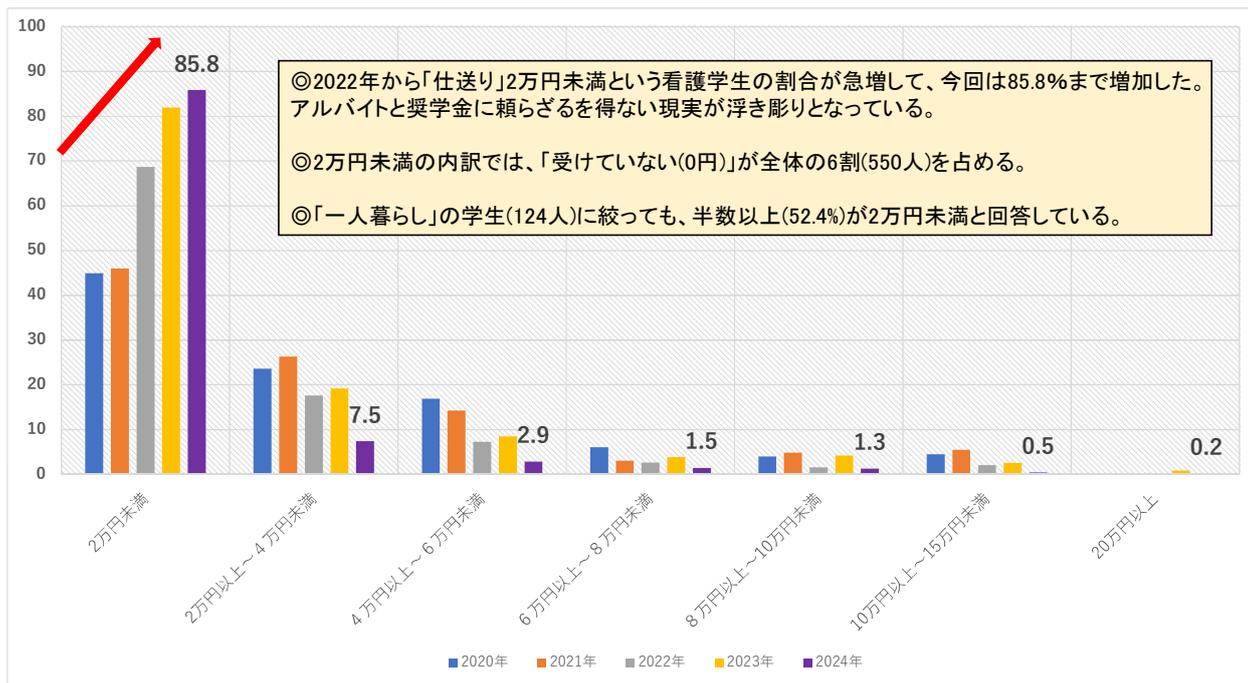
n=473 ※「わからない」444件の回答を除く



4

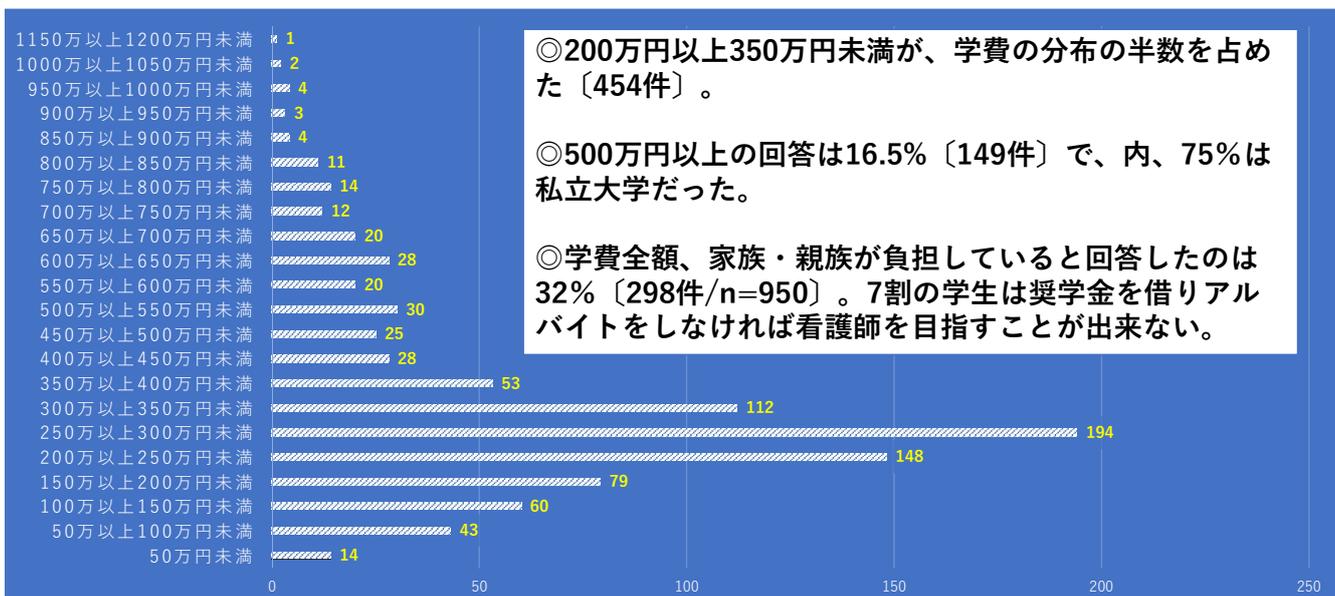
親などからの小遣い・仕送り額の推移 (1カ月当たり)

n=917



5

学費(在学期間の総額) n=905



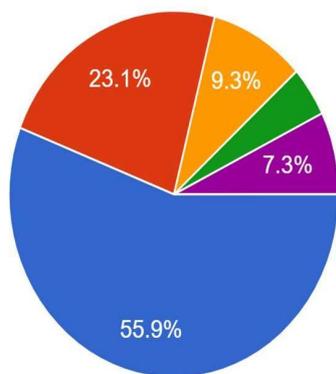
6

学費は高いと感じますか？

6.学費（授業料）は高いと感じますか？

932 件の回答

● **そう思う** ● **ややそう思う**
を合わせるとおよそ8割

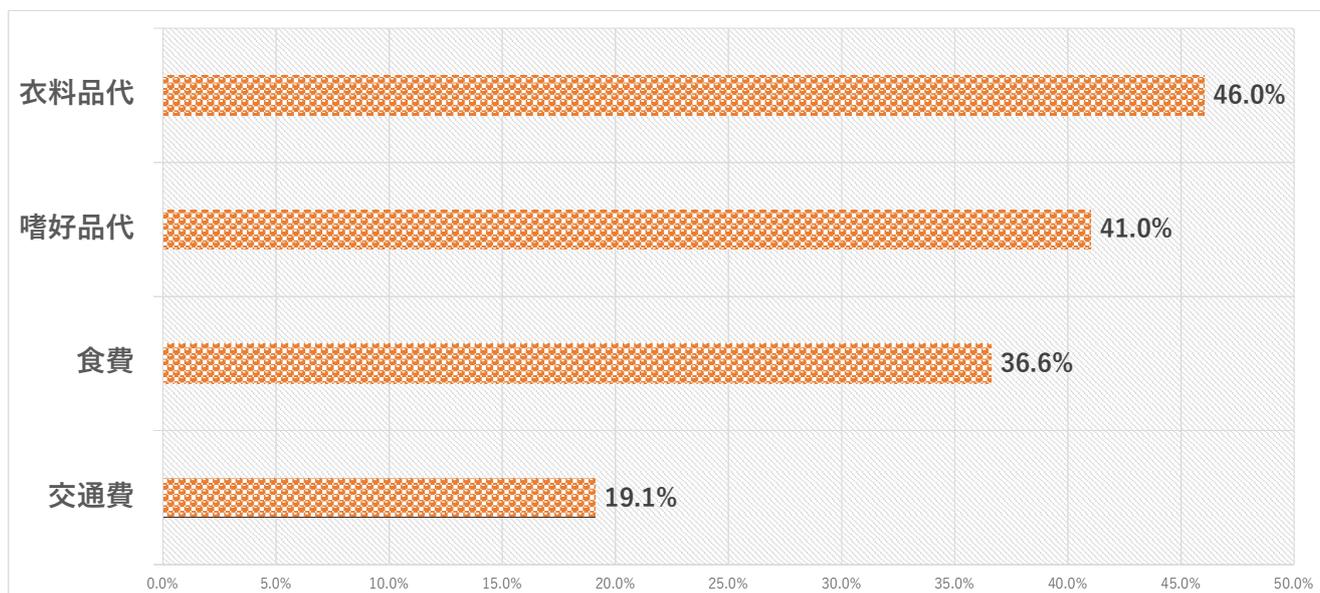


- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- 思わない
- わからない

7

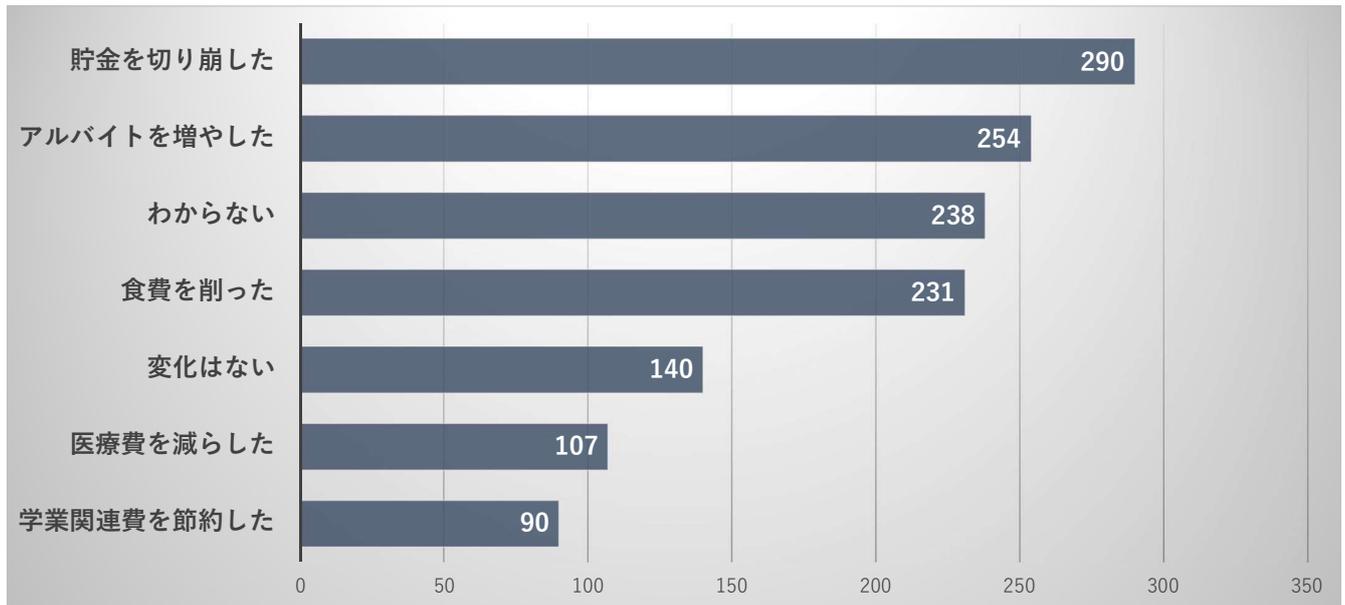
経済的にゆとりがない時に、節約しているもの(複数回答)

n=880



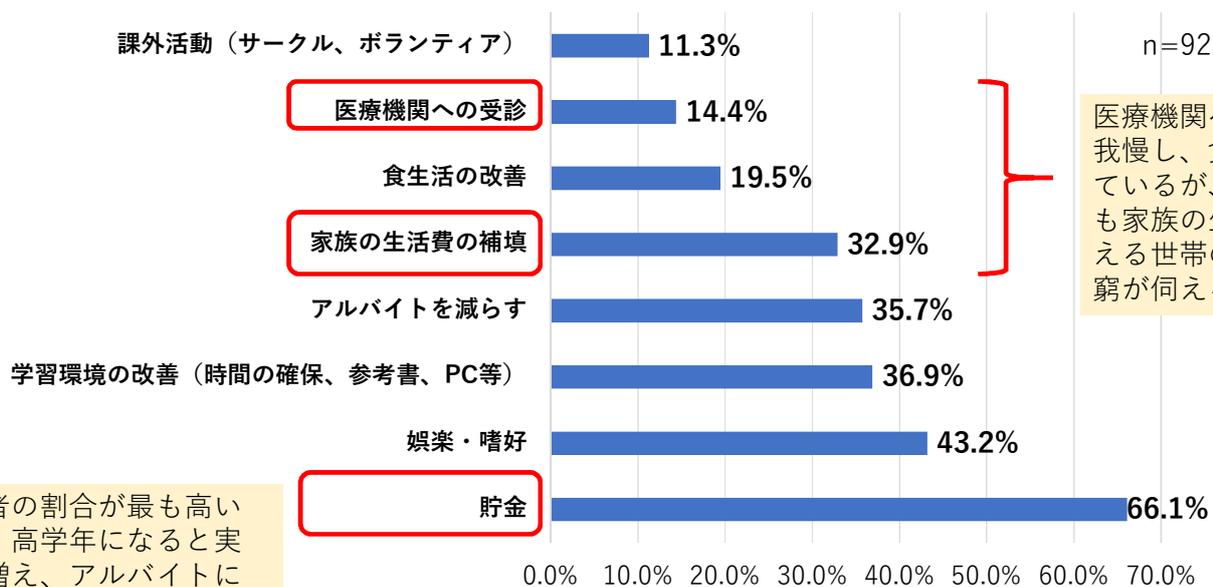
8

物価高騰による生活の変化について(928件 複数回答)



9

学費が無償になったら何がしたいか？

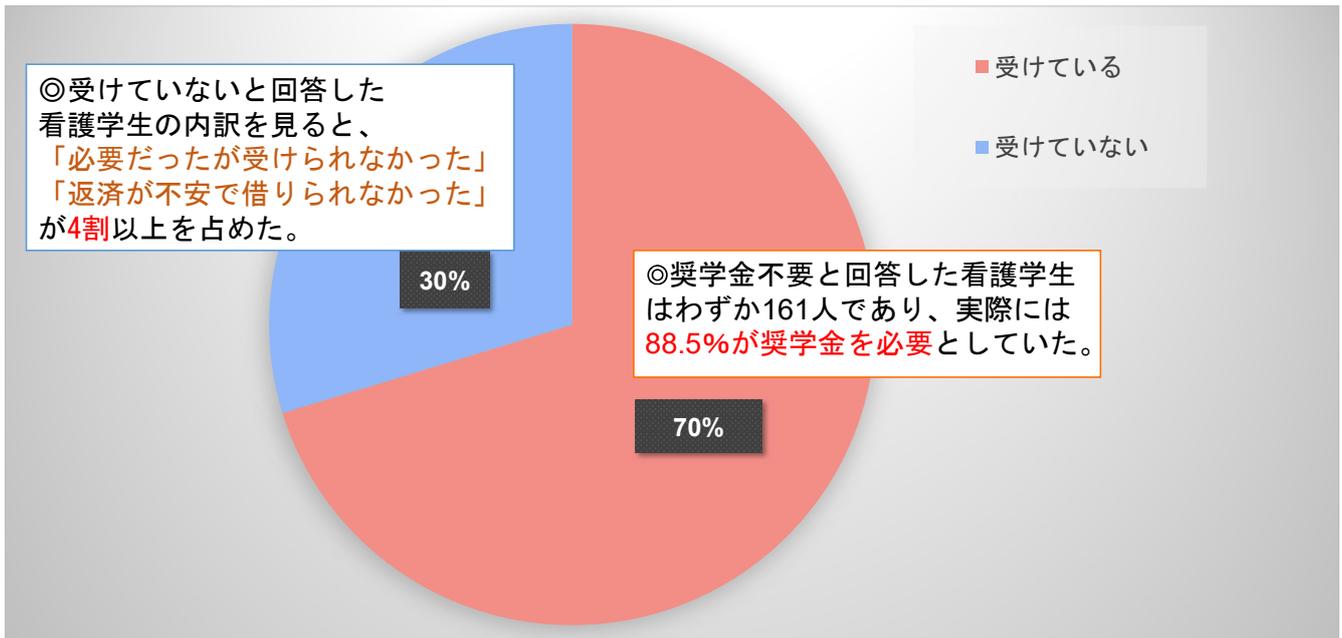


医療機関への受診を我慢し、食費も削っているが、それよりも家族の生活費を考える世帯の経済的困窮が伺える。

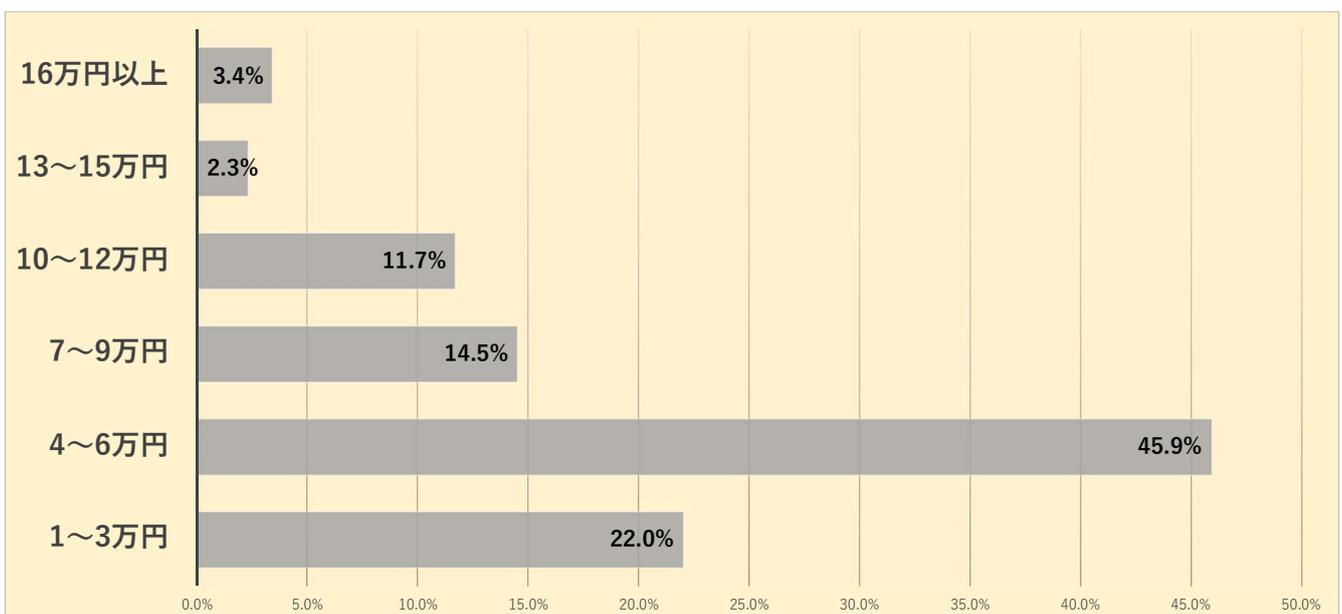
貯金希望者の割合が最も高い背景には、高学年になると実習時間が増え、アルバイトによる収入が減少する、また奨学金返済のためなどであることが考えられる。

10

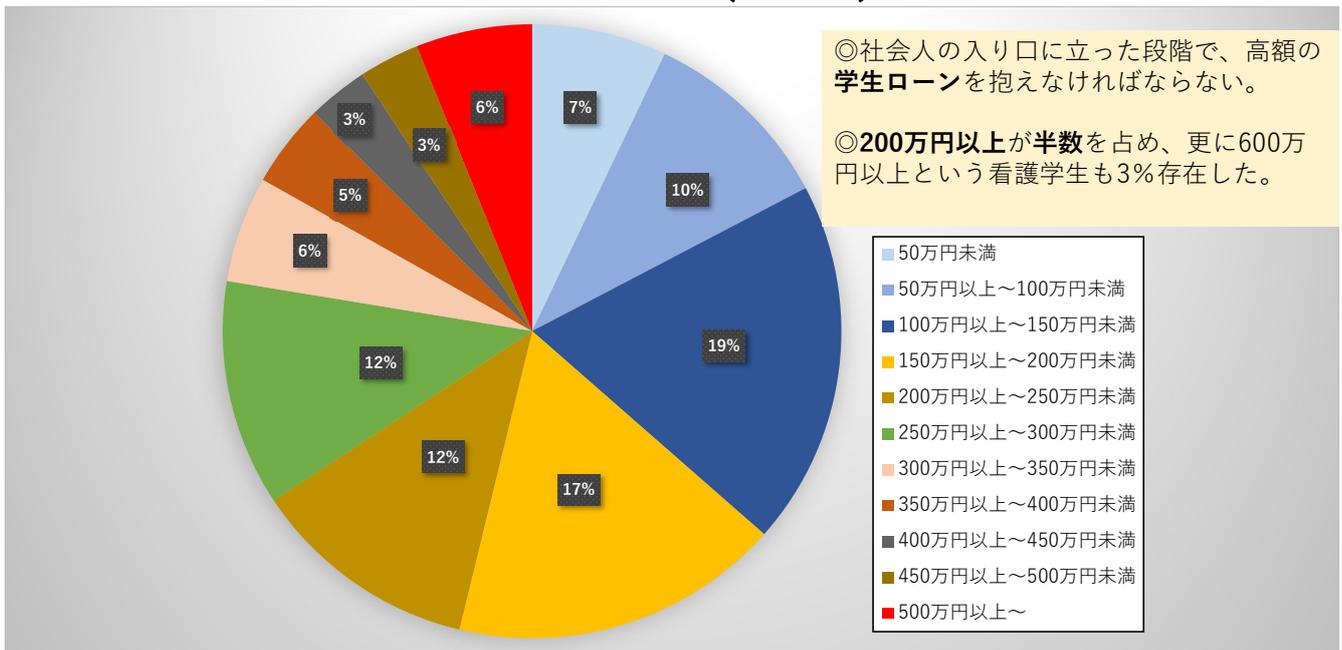
奨学金を受けていますか？ n=934



奨学金一ヶ月の受給額 n=640



貸与型奨学金の卒業時返済(借金)総額 n=411

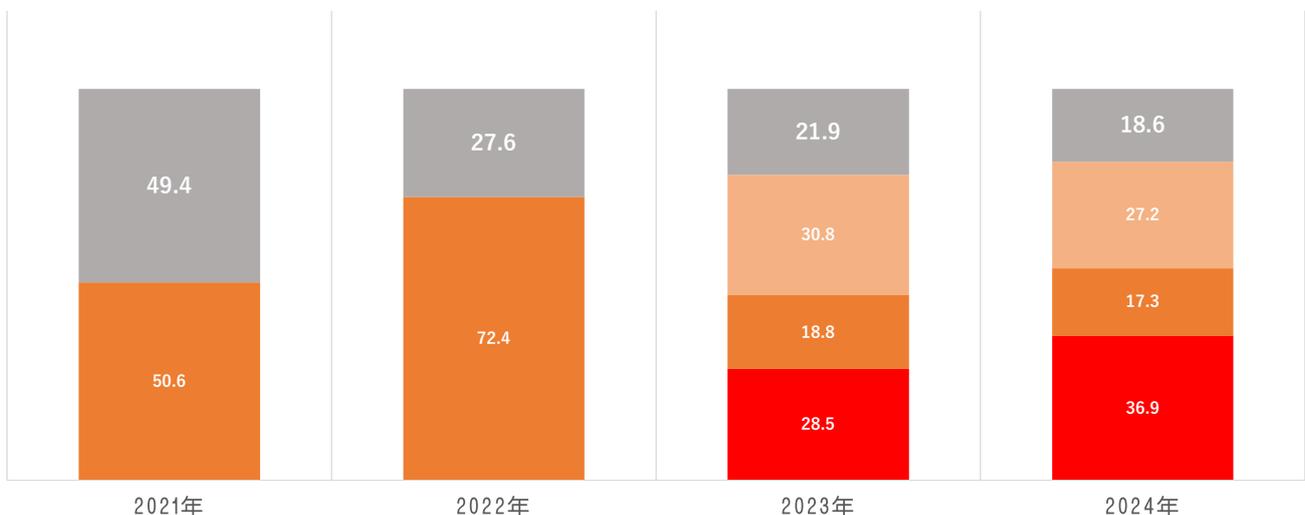


13

奨学金返済への不安はありますか n=640

3年前は「不安なし」が5割居たが、今回は2割を切った

■ とても不安 ■ 不安 ■ 少し不安 ■ 不安はない

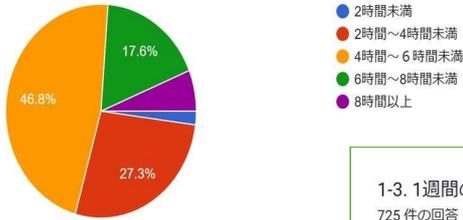


14

アルバイトについて

睡眠不足や疲労蓄積により、学業に何らかの支障を来したと回答した看護学生は66.7%だった。

1-2. 1日当たりのアルバイト時間はどれくらいですか？（平均）
726 件の回答



◎アルバイトをしていない、する予定もないと回答した看護学生は12.4%(114人)のみ。

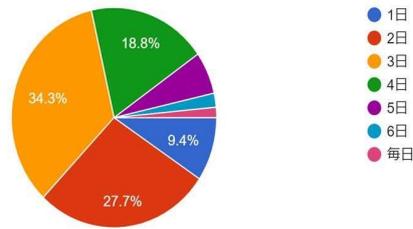
◎8時間以上働いていると回答した学生も45人、6.2%を占めた。

◎週4日以上が207人で、およそ3割。

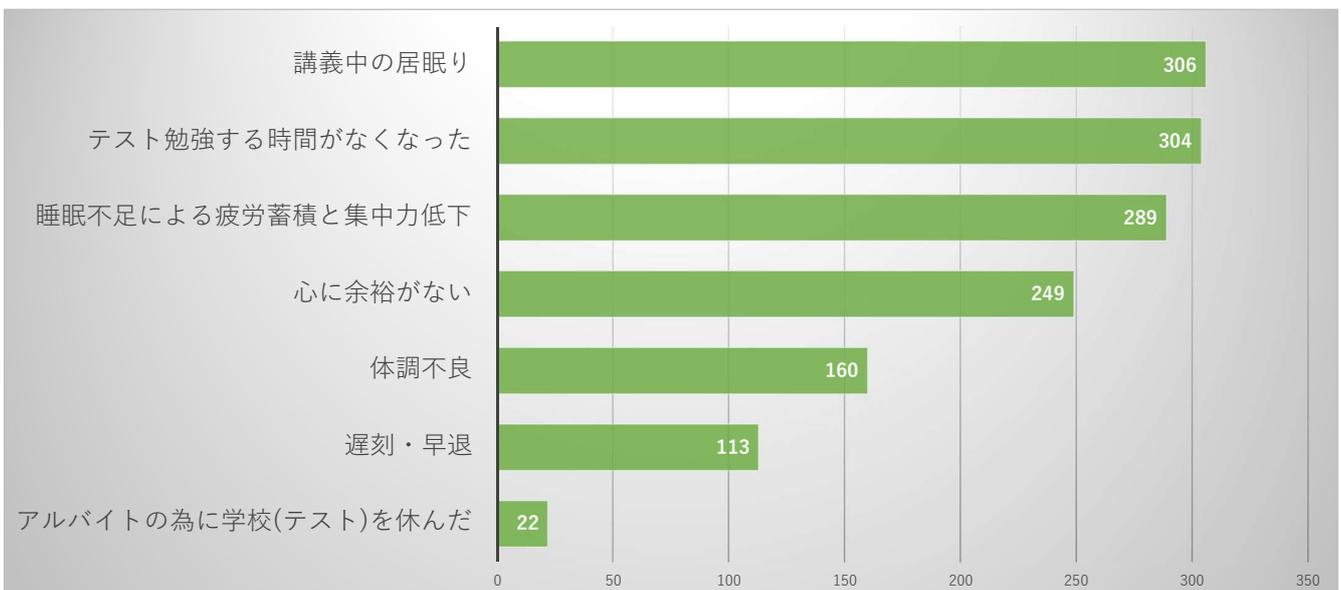
◎毎日と回答した学生も11人居た。

◎深夜時間帯(22時～翌朝5時)にアルバイトしていると回答した学生は3割にのぼる(n=724)。

1-3. 1週間のアルバイト日数はどれくらいですか？（平均）
725 件の回答



アルバイトによって、学業に支障を来した内容（複数回答） n=739

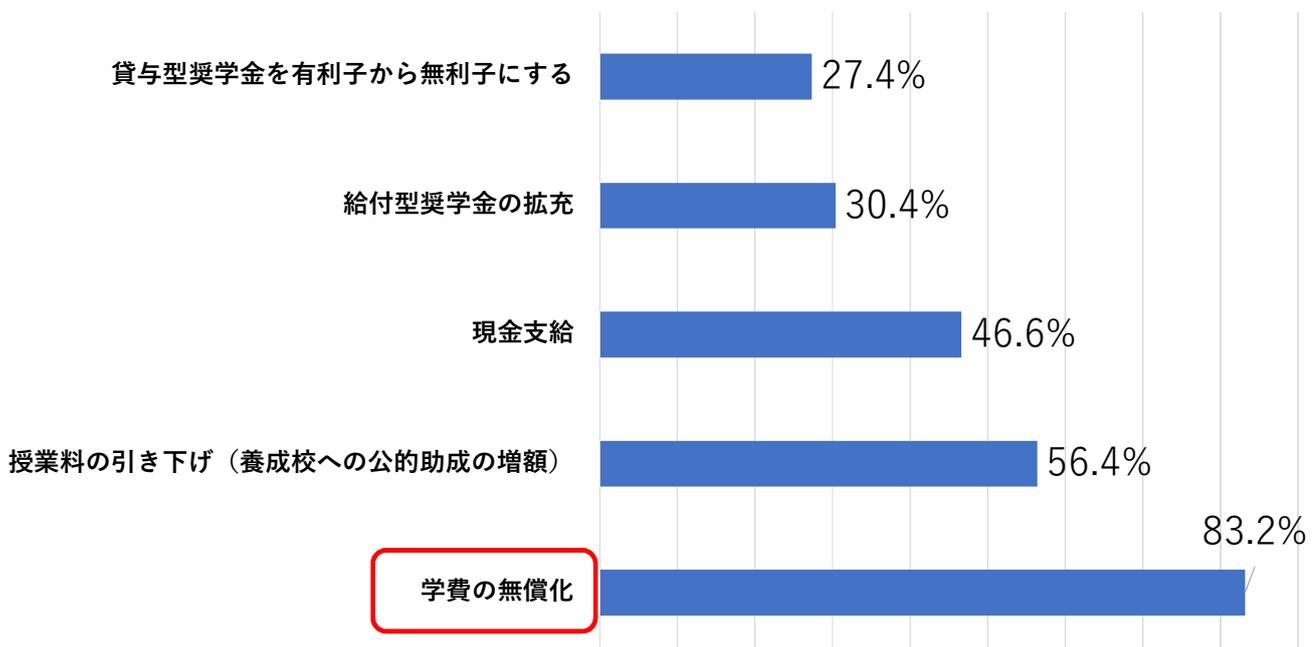


国への要望〔看護学生の声〕 自由記載より抜粋

- これから卒業して大人になってから税金たくさん払わないけれど、学生からお金とるのおかしいと思う。
- 命に関わる大切な仕事なので、アルバイトではなくて勉強に集中したいです。
- 学費が高く、また実習が多く、臨地実習への交通費が1年間全部で10万以上かかってしまうため実習中でもバイトをせざるを得ない状況にあります。学費と交通費は国が援助していただきたいです。
- 国試を年二回にして欲しい。
- 看護師自体の基本給増大してください。もっと看護師の労働状況を考慮してほしい

17

国・自治体へ要望すること (n=892)



18

国への請願項目

1. 国際条約である「高等教育無償化」を速やかに履行すること。
2. 給付型奨学金の拡充と要件緩和を行い、看護職を目指す全ての学生が利用できる制度にすること。
3. 看護職養成校への国の補助金を充実させること。国の責任で看護職の確保と養成に取り組み、看護職養成校を守ること。

19



全日本民主医療機関連合会について

国連 経済社会理事会 (ECOSOC) 協議資格認定NGO

全日本民主医療機関連合会（民医連）とは
無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す民間の医療・介護事業所等が加盟する全国組織。（1953年創設）47都道府県に事業所があり、職員数はおよそ8万4千人。看護専門学校は8校[北海道・秋田・山梨・東京（千葉）・京都・大阪・岡山・福岡]。

全国で毎年千人程度の看護職員を迎え入れており、学生時代から共に育ち合う為の企画や交流も重視しています。学業をサポートする目的で、加盟事業所の方針や人事政策に沿った独自の奨学金制度も運用しています。

お問い合わせ

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階
職員育成部・看護学生委員会 TEL 03-5842-6451

min-ikusei@min-iren.gr.jp

きらり看護 <https://kirarikango.com/>



20

国や自治体に要望したいこと(自由記載)
学費無償化、学費値下げ
学費の無償化 (同26名)
軍事費なんかにあてないで学費の無償化して。
学費を安くしてほしい (同10名)
これから学生を卒業して大人になってから税金たくさん払わないけんに学生にまたお金とるのおかしいと思う
国の将来を考えて、学生の学ぶ環境を整えることは、人材育成につながるの、どの年代の人も学びたいときに学ぶチャンスや支援を今後も増やしてほしい。
看護師不足にも関わらず、将来看護師になるであろう学生に対し金銭面の不安を抱えさせアルバイトをせざるを得ない状況になっています。そのため勉強する為の時間の確保が出来ていません。親に借りるのも申し訳ない気持ちがあり、親が十分に稼げているのならいいと思いますが、みんながみんなそんな状況ではないと思います。奨学金を借りるのにも利息があったり、年々物価高になっている現在、将来返すことができるのかとても不安に思います。もう少し学費を安くしたり、本当に看護師が欲しいのなら無償で授業を受けさせるなどの対処が必要だと考えます。ご検討お願いします。
看護師が足りていないのであれば、誰もが障がいなく看護師を目指す環境をつくってほしい。学力不足や努力不足は仕方ないことかもしれないけど、経済的問題で将来の道を狭めてしまうのは勿体無いのではないかと思います。家族からの支援が受けられない人やアルバイトでは賄えない人にもっと寄り添えられる制度があればいいなと思います。ただアルバイトで学費がまかなえている=生活も難なくできて、わけではなく、生活を切り詰めてながらアルバイトをしギリギリで過ごしている方もいるので、学費がまかなえているから奨学金などの給付対象外とならないような仕組みが確立されると、もっと看護師をめざしやすくなり将来的に看護師も増えるのではないかと思います。
家庭によって、経済環境や収入、子どもの人数が異なり、アルバイトに追われたりテストに集中できなかったりする不平等が生まれるため、どの家庭であっても子どもは平等に勉強できる環境をつくってほしい。アルバイトで勉強できなかった時間に、他の人は勉強でき、成績に差が生まれ成績優秀者の金額支援はアルバイトをしていない人がもらえたりする可能性もあり、悪循環である。金銭支援をするか学費を下げて欲しい。
社会人を経てから看護専門学校に入学しました。就労中に雇用保険に入っていました、学校の講座が厚生労働大臣の指定を受けおらず、専門実践教育訓練給付金制度の給付を受けられません。小さな子供もいるためアルバイトをすることも難しく、貯金を切り崩し生活をしています。給付金の需給条件を今一度見直していただくとともに、高等教育の無償化を求めます。
本当に学費が高すぎるし、もっとこういうことにお金を使って欲しい
医療系の教科書は値段が高く、たくさん必要なため教科書代によって、負担がかかる。
医療費の減額、交通費減額、授業料無償
学費が高く、また最高学年は実習が多く、臨地実習への交通費が1年間全部で10万以上かかってしまうため実習中でもバイトをせざるを得ない状況にあります。現金の援助をしていただきたいです。
学費が高すぎる。学費による弊害が大きい
学費と交通費支給にして頂きたい。正直、奨学金という借金をしたくなかったし、お金の心配をして学校に通いたくない。
学費の問題を気にしなければ、看護学生は増えると思う。また、奨学金の制度を知らない学生や家庭も多い。奨学金をうけ国家資格取得ができることを知って将来の選択肢を増やしてほしいと思う
学費をどんな方法でも大丈夫なので安くして欲しいです。
教科書・参考書を購入する際の支援
教材の金額を減らす
大学に通う人も増加しているため、学費の引き下げをして多くの人がよりよい教育を受けられるような環境を整えて欲しい
実習や学業継続に伴う経費の負担が大きい
臨地実習地へ行くまでの交通費の補助または制度を整えることをお願いしたいです。現在、4学年では実習地の距離による不平等さから実習前に2万円を徴収し、領収書の提出に合わせて集金したものから学生へ支給、余ったお金を学生の頭数で割って戻すという仕組みになっています。この徴収時期が必携図書を買ったり模試の代金を払う時期と重なるなどして4年次の4月のみで7万円+生活費の出費となっています。この仕組み自体には賛成していますが、この大きな出費によって生活費や参考書代を削らざる得なくなってしまうので1度、考えていただきたいです。
実習の際に、実習先に行くまでの交通費を助成していただきたい。交通の便が悪い場所が多く、実習開始までに着く電車やバスがなく、タクシーで行かなければいけない事が多い。交通費がとてもかかり、食費を削ったりアルバイトを増やしている子も周りにいる。また、病院実習に行かせていただく際にある血液検査、ワクチン接種等も助成して欲しいと感じる。学生のお金に関する負担をなるべく減らしていただきたい。
実習などでワクチンを打たなければならない事もあるので医療費を保証してほしいです。(同2名)
実習の際、交通費を支給してほしいです
実習日の交通費や援助に使うものなどお金を支給してほしい。
臨地実習など予期せぬお金を補助してもらえたら助かります
税金が高いの 田舎は車必須なのでガソリン代をとにかく安くしていただきたい
制服代などの出費が大きい
現金支給を求める
現金支給・お金をください (同14名)
学生アルバイトしなくても生活できる資金支給
大学生にお金配って欲しい、そしたら経済回す
母子家庭に対する現金支給
中層企業の家族の給付額の増額
実習中アルバイト後できないため現金支給してほしい (同2名)
双子の姉妹で2人とも大学に通ってるから、学費がものすごくかかるので、経済的支援が欲しいです。

国や自治体に要望したいこと(自由記載)
給付型奨学金の拡充
給付型奨学金の審査対象に、世帯収入だけでなく兄弟の有無や介護・医療的な側面も考慮して審査してほしい。
給付奨学金(自宅通学)が足りていない。増額してほしい。
給付奨学金の所得制限を緩和してほしい。医療系の学費を安くしてほしい。
お金の余裕がなくて、勉強に支障が出てるので現金などの給付があれば頑張れます。命に関わる大切な仕事なので勉強に集中したいです。
返済金額を減らしてほしい。ひとり暮らしの学生への補助金。
一人暮らしの支援と、医療学生の予防接種の負担援助や各学校に提携病院をつけて欲しい
一人暮らしの人は食費とか我慢することが多く、勉強以前の問題ということを知って欲しい。
高校生の時体調が悪く成績が悪かった。その為給付型の奨学金が通らなかった為、そういった事情を踏まえて奨学の認定をして欲しい
コロナ化でアルバイト禁止ですが、ほとんどの子がアルバイトをしています。親も物価高騰やコロナの影響で経済的に余裕がなく、子供の学費を払うだけでもかなり負担が大きい。まして、車が必須な上に駐車場料金も発生する事から出費がかなり多額となる。高齢化でますます看護師不足が問題になってくるが、看護師を目指したくても学業に専念できない実状がある。奨学金も正直4万円だと少なすぎる。
せめて無利子、給付金を受けられない学校なくしてほしい
たとえ親が公務員であっても、母子家庭で兄弟が多く、経済的に困窮している家庭の場合(親族などにも頼れない事情がある場合)は、給付型が借りられるようにしてほしいです。
ひとり親支援で現金給付を増やしてほしい。養育費の未払いを負担してほしい
もう少し学生にとって資金面をどうにかしてほしい。たとえば奨学金などもそうだが母子家庭への支援が18歳までじゃなく、大学卒業までも検討してほしい
一人暮らしの看護学生に給付が欲しい。実習や学業においてお金が足りない。ワクチン、ホテル代、交通費、教科書代、実習服代全て高すぎる
専攻科になって補助金が出なくなり生活が厳しくなったので補助金の範囲?を広げて欲しい
居住件で就職した場合の奨学金返済の緩和
奨学金という制度のおかげで、授業料の心配はなく通学できています。しかし生活費が必要なため、経済的には全く余裕がありません。将来、自身が病気になったら?家族に何かあったら?奨学金を返しきれないのだろうかという不安もあります。お金の心配なく、勉強に集中したいです。
奨学金の給付、無利子、給付金を世帯年収関係なく全員に同じ対応してほしい。
奨学金を借りても返済までに時間がかかる
奨学金難民が未だ後絶たないのが現状です。もう少し返しやすい奨学金制度を設けていただきたいです。行く学校によっては住宅ローンと変わらないほどの返済期間になるのではないのでしょうか?
申請しやすくしてほしい
看護師が不足していると言っている割には、授業料も高く、ハローワークの訓練給付金対象外の学校であり困っている。
社会人(家庭あり)で学校へ通う人への措置をもう少し拡充してほしいです。
奨学金かりて、安心して返せる看護師の待遇改善
高校生の息子がいるひとり親です。在籍中の生活費の保障を在籍期間の初月から入金してほしい。入学してから数ヶ月の間、アルバイトの収入源しかないのは、苦しい。常に睡眠不足で学業に務めざるを得ない。
国家試験について
看護師国家試験の追試、国試を年に2回実施。
看護師不足に伴う国試合格率をあげるべき
看護師の処遇改善を!!
看護師のお給料あげてほしい。とても見合っているとは思えません。(同16名)
高月収、人員増員、短時間労働
その他
医療従事者が不足しているなら、そうならないよう対策してほしい
辛いです。政治家には本当頑張って欲しい。税金の使い道間違えないで欲しい。本当に無駄遣いは辞めて欲しい。
税金減らしてください(同2名)
物価下げてください
社会人からの入学卒業が厳しすぎる
地方にも就職口の拡充をして欲しい。
長時間勉強できるフリースペース、カフェが欲しい
道を広く綺麗に安全に。今後の日本の未来を担うのは子供なのに税金を高齢者ばかりにお金を使うのは未来に繋がらないと思うし、働いて税金を稼いでくれる人が馬鹿みるのはおかしいと思う。外国人への生活保護【医療費の負担】
看護学校のカリキュラムを見直してほしい。寝る時間がなくて、患者を見る前に自分が体調を壊してしまう。
実習時間、学科時間をもう少し減らしてほしい、学生にとって効率がよい課題を出してほしい。
高齢者を支える若者の育成とその環境整備
学校の生徒の治安が悪い。
学校の制度や教員を見てほしい
学びやすい環境づくり
学内にWi-Fi設備を整えてほしいです。(同2名)

看護師として働くうえでの今の問題意識
お給料が低い
看護師の賃金の低さ (同26名)
給料あげて欲しい (同8名)
業務内容に対しての給料が見合っていないと感じる。(同12名)
責任に対して給与が低い
命を扱う仕事であるのに給与が低い
かなりの量の勉強して資格取得するにもかかわらず、それにしては給料低い
医療職で専門的な仕事であり、夜勤などの生活バランスの乱れが生じるにも関わらず、賃金が低いままである。そのため、モチベーションや専門性の高さに伴っていないことに不満感を抱いている。
医療職の待遇改善 患者からのハラスメント行為に対する対応、給料の増額
看護師という資格を取ることができても、初めは一人暮らしするのは厳しかったり、給料が少ないと思う。
看護師ももちろん給与を上げるべきだと思うが、これからより一層増えていく高齢者をケアする介護職の賃金をあげてほしい。
時間の拘束の割に給料が変わらない
人の命に関わる仕事なのに給料が低い
実習を通して、学生の目から見ても患者数に対して医療従事者の人数があっていないと感じた。人員不足のせいなのか、疲れが溜まりイライラしている医療従事者もいた。そんな状態で良い看護は出来ないと思う。看護体制の見直しを至急して頂きたい。
看護師のお給料も仕事量に見合っていないと感じた。人の命を守る仕事を24時間、身も心もすり減らしてしているのに、お給料が安いと感じる。(実習先や、親族の話から。)医療従事者のお給料も見直して頂きたい。
夜勤をしなければ給料が安く、1人で生きていくには厳しい
労働量と給料があってないから潜在看護師が増えていると思う
沢山勉強して、知識を習得しても夜勤をやらないとさほど稼げない
給料と労働力が釣り合っていない気がします。学生となると尚更、生活が苦しくなります。
経済的困窮、奨学金返済の不安
お金がない
お金の追われて生活していくのが鬱になります
・継続して勉強する習慣と環境を整えておきたい
・大災害が発生することを想定して病院内でシミュレーションなどしていきたい
1歳の子供がいて、親戚からの支援を受けながら看護師になろうとしている。しかし、奨学金は借りれないし、アルバイトもできない。
お金の余裕がなくて、看護師になりたいと思っても、お金の心配や体調不良、睡眠不足で学習に集中できなかったり、やる気が出なかったり、学生生活がづらい。
お金のことを気にしなれないため、学びたい気持ちが下がってしまう
サービス残業を強いる空気感
海外には若い人は休みを取りやすい、土日終日はお給料が2倍、など休暇が充実しているなと思いました。日本でも土日祝日の手当をもっと増やしてほしいと思います。
奨学金を返せるか不安
奨学金返済したら生活できない。
初任給が少ないのに奨学金返済で手取りの額が少なくなると生活が苦しくなる
奨学金の返済にお金と労力を使うことで、働き始めの生活費や、勉強、リフレッシュにお金が使えない
奨学金を借りたくても返済が不安で借りられない子がいる。奨学生も毎月研修会などがあるが、専門学校は3年間で詰め込み学習の為、課題や試験に追われてなかなか参加したくても研修会に参加出来ない。
貯金をしながら奨学金の返済をする生活ができるか少し不安ですが、過ごしやすい環境で働けたらいいなと思っています。
学費がとて高く働く気持ちがさがる
看護師になってからもお金の心配なく勉強ができる。
物価の高騰により貧困差が出る、医療機関を受けられない。
大学卒の看護師が増加傾向にあるため、学費の引き上げは大きな問題だと考える
学費のために、アルバイトをしているが、実習や勉強のために、シフトを減らさないといけないけど、減らさないと悩んでる看護学生の友達居ます。勉強に専念出来るように補助などを増やせたらいいと思っています。
働く環境への不安
医療従事者の労働時間と労働条件
ストレスが多い 残業が多い 離職率が高い 慢性的な人手不足 夜勤をしないと稼げない
パワハラ 意地悪な看護師さん
ライフスタイルに合う働き方ができるかどうか心配。
医療は人手不足が問題であり、医療従事者一人一人の負担があるためそこを解決できるような策を立ててほしい。
看護師不足、人員不足 (同19名)
人員不足は心配です。自分たちが働く時思うような看護が人員がいなくて行えないことはしたくない。
病床数削減や、看護師不足は患者さんだけでなく、看護師自身にも悪影響を及ぼす。
高齢化が進んでいるため、看護をする人が足りない
看護師対患者の比率
新卒看護師早期離職 (同3名)
退職率
看護師不足であるにも関わらず、パワハラ、育てる意識のないお局看護師がいる為若い人達が減っていつている。
看護師としてのメイク髪型などの多様性を認められない歴史が職場環境、教育機関でのパワハラ連鎖が止まらない理由である。
給料が低いのに人が足りなくて業務量が多いと聞きます。心配です。
あと、指導者が理不尽すぎる話を聞くので、働きだしたらチームで働くのでパワハラとか心配です。
休日が少なすぎる 残業が多い 大変な職業なのに給料が少ない
人間関係が気になる (同 3名)
患者さんからの暴言や暴力
非合理的な上下関係。人手不足。賃金。
労働環境が悪い
労働環境が悪い。きつくて当たり前という意識がおかしい。
過剰労働の有無
長時間労働、ワークライフバランスの確保ができるかどうか

看護師として働くうえでの今の問題意識
職場環境が悪い
職場環境の改善
職場内の問題を職場内から出さずに鬱憤が溜まりそう 職場ごとの謎ルールがある
人手不足で一人にかかる雑務が多すぎる
仕事が大変
仕事の大変さに対して給与が低く、離職する人が多いこと
仕事量や責任が多すぎる
仕事量多くない？その割に人少なくない？したら、ダブルチェックする時間なくて医療過誤無くならんくない？
給料少なくない？
残業なくす
残業代が支払われない（同2名）
残業、個人の負担の大きさ、人員不足
サー残、前残
長時間労働、低給料、学費無料
前残業に給料が発生しない 雑務が多く、時間通りに出勤しても仕事（記録）が残り残業することがある
働けるかどうかの不安・自身の健康・ワークライフバランスなど
看護師にまづなれるか不安
ちゃんと働けるかどうか
ついていけるかの問題
もっとしっかり勉強したいけど、現実的に考えた時にアルバイトを減らすと生きていけなくなること。
やる気のある人とやる気のない人をふるいにかけて公平な判断してほしい。
やる気がない
学力・知識不足（同4名）
勉強についていけるか
国家試験です。
重複課題に対応できない
患者と上手に関わることが出来るかどうか
技術が身につくか
要領が悪い
欠けているコミュニケーションと交友関係、そして看護学の知識付け
健康意識した食生活
自身の健康
健康問題
睡眠時間の確保
精神的負担への不満
子どもとの時間
子育てとの両立
夜勤もある環境で働くことが決まっています。子どもの行事があったときに、休みなど少しは融通がきくのか、サービス残業は多くないか、気になることはたくさんあります。仕事と子育てが両立できるのが理想です。
看護師の給料や労働時間についての問題をよく聞く。しかし、今私に出来ることは、就職前にしっかりと看護の知識をつける事だと思ふ。就職後に少しでも不安がなく働けるように、家事をしつつも勉強時間を確保して、学習したい。
命に関わる大切な職業なので勉強頑張りたいと思います。
その他
看護師不足に伴う国試合格者をあげるべき
看護師に求められる能力は医療の発達と共に高くなっています。また、近年では特定行為研修が始まったり、少子高齢化によって高齢看護の需要が増えたりなど看護師の役割は社会情勢によっても変化していくと考えています。そうした変化をとらえ、地域の医療に貢献していけるよう日々勉強する姿勢を持っていかねばならないと考えています。
高齢化、認知症患者への対応、安楽死を認める
患者さんが病院にいつでも悩まずにかかられるようになってほしい。
看護学校のカリキュラムを見直してほしい。寝る時間がなくて、患者を見る前に自分が体調を壊してしまう。
看護学生の実習指導者の態度や指導方法がきつく、将来看護師になることが怖くなる人が多い。
看護学生は睡眠時間がない！！
高齢化による医療のありかた 看護の多重業務化
初心を忘れてしまう。
生徒がねちっこい。蹴落とし合いの毎日。
潜在看護師をなくす
中途半端
働きたい医療機関で働けるかどうか
美容看護師にゆくゆくはなりたい！！40代になったら病棟に戻りたい
勉強できる環境を整えて欲しい
勉強に励む時間よりもバイトでお金を稼がなければ生活を送れないような環境に慣れてしまっているため、看護師になったときに、勉強にうちこむことができるのか。
命を預かっているということ
夜勤の時は運転が心配なのでタクシー代が出れば嬉しい
優しくして欲しい
人権差別を失くす
嘘をつかない
休息時間の増加
希望の科に行けない方が減少する様、人手不足解消。